

11/26(金)～12/24(金)の行事

はじめよう、つづけよう。

「新北海道スタイル」



～新型コロナウイルスに強い北海道をつくる～ 新北海道スタイル

報道発表資料の配付日時 11月17日(水) 11時00分

発表項目	「北海道福祉のまちづくりパネル展」及び「障がい」についての理解促進をテーマとした図書展の開催について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>福祉的配慮に優れた事例や各種取組を広く道民に紹介し、普及啓発を図ることを目的とした、「北海道福祉のまちづくりパネル展」を開催します。</p> <p>また、会場の稚内市立図書館では、「障がい」についての理解促進をテーマとした図書展が開催されます。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 開催期間及び内容</p> <p>(1) 北海道福祉のまちづくりパネル展(主催:宗谷総合振興局) 令和3年(2021年)11月26日(金)～12月3日(金) ○ みんなが暮らしやすい「やさしいまちづくり」に関するパネルを展示します。</p> <p>(2) 「障がい」についての理解促進をテーマとした図書展(主催:稚内市立図書館) 令和3年(2021年)11月26日(金)～12月17日(金) ○ 障がいに関連する図書約190冊の展示・貸出が行われます。 (展示図書一例別添のとおり) ○ 併せて、令和3年(2021年)12月14日(火)～24日(金)に、発達障がいの特性、支援のポイント、当事者のエピソード等を解説するパネルを展示します。</p> <p>2 開催場所 稚内市立図書館(稚内市大黒4丁目1-1)</p>		
参考	<p>○ 昨年度の北海道福祉のまちづくりパネル展の開催状況 令和3年(2021年)1月18～20日(宗谷合同庁舎1階道民ギャラリー)</p> <p>○ 「障がい」についての理解促進をテーマとした図書展については、「宗谷圏域障がい者が暮らしやすい地域づくり委員会」(事務局:宗谷総合振興局社会福祉課)の取り組みの一つである、「障がい(児)者と地域住民の相互理解」の一環として、管内各市町村の図書館に対し、「障がいへの理解促進」をテーマとした図書展の開催について順次働きかけを行っているところであり、今般、稚内市立図書館での開催となったものです。</p> <p>引き続き管内各町村の図書館に対して同様の企画実施について働きかけを行い、より多くの道民の方々に、「障がい」についての理解を深めていただきたいと思います。</p> <p>なお、12月3日(金)から同9日(木)は、「障害者週間」となります。</p>		
報道(取材)に当たってのお願い	パネル展及び図書展にたくさんの方が来場されますよう、広くPRをお願いします。		
他のクラブとの関係	同時配付(場所) 同時レク		
担当 (連絡先)	<p>○宗谷総合振興局保健環境部 社会福祉課長 影山 章 TEL:0162-33-2979(内線:3800) 地域福祉係長 其谷 朝子 TEL:0162-33-2579(内線:3811) 主査(地域福祉) 大橋 千春 TEL:0162-33-2579(内線:3815)</p> <p>○稚内市立図書館 図書サービスグループ 主査 白坂 孝 TEL:0162-23-3874</p>		

稚内市立図書館 図書展（「障がい」への理解促進）展示・貸出図書一例

No.	書名	著者	出版社	内容
1	アイちゃんのいる教室	高倉正樹/ぶん・しゃしん	借成社	宮城県仙台市の小学校を舞台に、ダウン症のアイちゃんと通常学級の子どもたちが過ごす日常を写真とともに紹介する。
2	えほん障害者権利条約	ふじいかつり/作	汐文社	2006年に国連で生まれ、2014年に日本へやってきた障害者権利条約。条約がきちんと守られたら世の中はどのようなのでしょうか。障害者権利条約の大切さ・めざす社会をやさしく紹介します。
3	みんなのバリアフリー 1/心のバリアフリーってなんだろう?	徳田克己/監修	あかね書房	障害のある人に気づけている? 身がまえたりしてない? 心のバリアをなくすための5つのステップや、自分の中の心のバリアを探すマンガやクイズを紹介します。
4	障がい者だからって、稼ぎがないと思うなよ。/ソーシャルファームという希望	姫路まさのり/著	新潮社	障がい者だって働きたい、自立したい。そんな「当たり前」を実現させたフレンチレストラン、クッキー工場、ワイナリー、美術館など4つの成功事例をじっくり紹介する。
5	人生バイプレイヤー/きょうだい児を生きる	中沢晴野	文芸社	障害や病気の兄弟姉妹をもつ「きょうだい児」は、いい子でいなくちゃいけないの? ダウン症の弟の誕生で、「いいお姉ちゃん」として我慢の人生を歩むことになった著者が、「きょうだい児」としての気持ちを真摯に綴る。
6	光をくれた犬たち盲導犬の一生	今西乃子/著	金の星社	盲導犬候補の子犬を育てるパピーウォーカー、盲導犬にする訓練士、盲導犬ユーザー、そして引退犬を引き取り最期を看取るボランティア…。一頭の犬にかかわる多くの人たちと盲導犬との絆の物語。
7	光を失って心が見えた/全盲先生のメッセージ	新井淑則/著	金の星社	34歳で全盲になった中学校教師が、家族の励まし、視覚障がいの高校教師との出会い、周囲の人たちの支えによって復職を決意。養護学校、盲学校勤務を経て公立中学校教師に復帰するまでを自ら記したノンフィクション。
8	のぶカンタービレ! 全盲で生まれた息子・伸行がプロのピアニストになるまで	辻井いつ子	アスコム	人は幸せになるために、生まれてきたのです。19歳でプロフェッショナルの音楽の世界に足を踏み入れた全盲のピアニスト・辻井伸行。母である著者が、それまでの7年間の歩みを振り返る。
9	耳の聞こえない子がわたります	マーリー・マトリン/作	フレーベル館	内気な少女シンディが引っ越した街には、耳の聞こえない少女ミーガンが住んでいました…。アメリカの日常生活を背景に、ふたりの少女の心情をいきいきと描く素敵な友情のお話。
10	蝶の羽ばたき、その先へ	森埜こみち/作	小峰書房	突発性難聴で左耳が聞こえなくなった中学2年生の結。だが、そのことを親友にも打ち明けられずにいた。悶々とする日々をなか、両耳の聞こえない今日子さんや手話サークルと出会い、新しい一歩を踏み出していく…。
11	手話通訳者になろう	木村晴美/著	白水社	手話がどんな特徴をもつことばなのかを説明し、手話の学び方、手話通訳者のなり方を紹介。さまざまな分野の第一線で活躍する手話通訳者たちのインタビューも収録する。手話の例文を動画で見ることができるQRコード付き。
12	耳の聞こえない私が4カ国語しゃべれる理由	金修琳	ポプラ社	生まれはソウル。4歳で親に捨てられ、6歳で聴覚を失い、12歳のとき母に連れられ日本へ。30歳で外資系一流企業に就職した変わり種キャリアウーマンの、へこたれないトンデモ半生記。
13	ろう者の祈り/心の声に気づいてほしい	中島隆/著	朝日新聞出版	聴覚に障がいをもつ「ろう者」の人々が、厳しい現実立ち向かっていく姿を取材したルポルタージュ。巻末には手話講座も収録する。
14	ぶきっちょとはちがうんだ/統合運動しょうがい	モーリーン・ブーン/著	大月書店	“超・不器用”な統合運動障害の子は、「運動」の情報処理の困難さのみならず、「感覚」の面でも困難さを抱えている。幼稚園、小学校、中学校での課題や、周囲の支援の仕方などを、子どもの目線でわかりやすく解説。

No.	書名	著者	出版社	内容
15	車いすの図鑑/バリアフリーがよくわかる 車いす使用者の気持ちを知るきっかけになる	高橋儀平/監修	金の星社	どんな人が車いすを使用しているのか、車いす使用者が困ることは何か、車いすにはどんな種類や機能があるのか…。車いすに関わる情報を伝えるとともに、道路や乗り物などのバリアフリーについても考える。
16	僕は上手にしゃべれない	椎野直弥	ポプラ社	吃音の悩みをかかえ、中学に入学した悠太。入学式の日には、当然自己紹介があるっていうのはわかっていたが…。著者自身の経験をもとに、吃音に苦しむ少年の葛藤と希望を描いた胸を打つ物語。
17	新しい発達と障害を考える本5/なにがちがうの?自閉症の子の見え方・感じ方		ミネルヴァ書房	自閉症のおともだちの行動や気持ちをわかりやすく解説し、子どもたちの理解を深める本。見え方・感じ方の特徴を取り上げ、授業や活動の中でできる工夫や支援を具体的に紹介する。
18	大人の発達障害/生きづらさへの理解と対処	市橋秀夫/監修	講談社	大人になってから家庭や職場でうまくいかない発達障害のほとんどは軽症の自閉スペクトラム症で、ADHDや、両者を合併している場合もある。子どもの頃には気づかなかった発達障害の、特性にあった対処法を徹底解説する。
19	大人の発達障害/仕事・生活の困ったによりそう本	太田晴久/監修	西東社	ケアレスミス、遅刻ぐせ、空気が読めない、片づけられない、忘れ物が多い…。職場や生活の中で生きづらさを感じている人に向けて、34の「困った」を解決するヒントをやさしく示す。
20	私たちは生きづらさを抱えている/発達障害じゃない人に伝えたい当事者の本音	姫野桂/著	イースト・プレス	ADHD、ASD、LD…。彼らの悩みと望みとは? 自身を発達障害ではないかと疑う著者が、発達障害の特性による生きづらさをテーマに、当事者を取材する。
21	あなたの隣の発達障害	本田秀夫/著	小学館	いつも約束の時間に遅れる、机のまわりが散らかり放題、企画書や報告書が書けない…。普通に文句を言っても通じない、発達障害の傾向がある人たちとストレスなく付き合うコツや、発想の転換法などを解説する。
22	わたしが障害者じゃなくなる日/難病で動けなくてもふつうに生きられる世の中のつくりかた	海老原宏美/著	旬報社	わたしが病気であることと、「障害がある」ことは、別のこと。わたしの生きづらさをつくりだしているのは、この世の中、この社会。難病をかかえる著者が、これまでの経験とともに、障害のみかたが変わるメッセージを送る。
23	弟は僕のヒーロー	ジャコモ・マツアリオール/著	小学館	僕は5歳のとき、パパとママから弟が生まれると聞かされ、大喜びした。しかも、どうやら弟は「特別」らしい。僕はだんだん「特別」の意味を知り…。19歳の青年が、ダウン症候群の弟との生活を描いた愛と成長の記録。
24	こんな夜更けにバナナかよ/筋ジス・鹿野靖明とボランティアたち	渡辺一史/著	北海道新聞社	人工呼吸器を着けながらも自由を貫いた重度身体障害者と、生きる手ごたえを求めて介助に通う主婦や学生ボランティア。02年8月死亡した筋ジス患者・鹿野氏と24時間体制で自立生活を支えたボランティア達の心の葛藤を描く。
25	みんながつかうたてもものだから	サジヒロミ/文・絵	偕成社	まあちゃんはお父さんたちと市民ホールへでかけました。駐車場、階段、トイレ、ホールの座席、エレベーターなど、みんなが使う建物のさまざまな工夫を、まあちゃんは学びます。建物のユニバーサルデザインのおはなし。
26	新しい心のバリアフリーずかん/きみの「あたりまえ」を見直そう!	中野泰志/監修	ほるぷ出版	障害のある人もない人も、誰もが自由に活動できる社会をつくるには? さまざまな「バリア」を感じている当事者の声を聞き、困っている人を見かけた時に行動を起こせるように、ヒントや実践例を多数紹介する。
27	「お手伝いしましょうか?」うれしかった、そのひとこと	高橋うらら/文	講談社	目の不自由な人、車いすの人、赤ちゃんを連れた人…。さまざまな人たちに対するお手伝いの仕方を、ストーリーとともに、イラストや写真を交えてわかりやすく解説。まめ知識や手助けを望む人からのメッセージも紹介する。
28	伴走者たち/障害のあるランナーをささえる	星野恭子/著	大日本図書	視覚障害だけでなく、自閉症や知的障害のある人といっしょに走る人や、義足のランナーをサポートする人など、さまざまな伴走者を取材。彼らの工夫や努力、その思いに焦点をあてて紹介する。